



人から人へ愛のプレゼント

やまぐち 移植医療通信

 No.21
 平成27年3月15日

山口市滝町1-1 (山口県地域医療推進室内) TEL.083 (932) 0743 FAX.083 (933) 2829
 URL <http://www.y-ishoku.org/>
 E-mail bank2@crocus.ocn.ne.jp

発行者：公益財団法人やまぐち移植医療推進財団

ごあいさつ



公益財団法人やまぐち移植医療推進財団

理事長 濱本 史明

平成24年4月に公益財団としての移行認可を受けて早3年を迎えました。その間、山口県や県医師会、ライオンズクラブ等の関係各位から移植医療の普及・推進に関して多大なご理解とご協力、ご支援を賜っておりますことに対し厚く御礼申し上げます。

現在、公益財団法人やまぐち移植医療推進財団は臓器移植コーディネーター2名とアイバンクコーディネーター1名を擁し、眼球提供登録者の管理、移植医療に関する県民への普及啓発活動や医療機関における移植医療に関する院内体制整備の支援を行うなど、角膜や臓器を提供される方やそのご家族の意思を、移植を受ける方へつなげるお手伝いをしています。

移植医療とは、病気や事故により臓器の機能が低下し移植でしか治療できない方と、死後に臓器を提供してもいいという方を結ぶ医療をいい、善意による臓器の提供をいただいで成り立っています。

わが国では、年間で角膜は約1,100件、臓器は約80件前後の提供があり、約2,030件の献眼移植（亡くなられた方より提供された角膜移植）、約130件の献腎移植（亡くなられた方より提供された腎臓移植）が行われています。特に、献腎移植希望登録者数からみると臓器提供者が少ない状況で、平均待機日数（登録日から移植日までの期間）は、5,304日（約15年）と長期に及び、多くの皆様に移植医療に関する理解を十分にいただいているとは言いきれない状況におかれています。反面、2011年12月末時点における献腎移植者の10年生存率は85.4%と高く、腎不全における最も効果的な治療法と言えます。

私達全ての国民は、移植医療に関する4つの権利（臓器をあげたい・あげたくない、移植を受けたい・受けたくない）を平等に持っており、いずれの考え方も尊重されています。私どもは患者様に対して、提供や移植について説得したり、強要したりすることはありませんが、移植医療に関する意思を決定する場合、本人のみならず、家族が総意のうえで決定されることが肝要です。移植医療に関するご自身の思いを明確にしておくために、日頃から家族とお互いの思いについて話し合う時間を設けていただきたいと思います。

生を受けた者には必ず最期の時が訪れます。愛する人との別れは、誰にとっても最大の悲嘆ですが、遺された人が臓器提供により故人の死を生かせたという思いから心の安らぎや支えを得ることがあります。このように、移植医療によって救われるのは移植を受けた人のみならず、提供者のご遺族や周囲の方々も含まれることから、移植医療が究極の優しさや思いやりの上に成り立っていることを常に実感しています。

これからも皆様とともに手を携え、故人の思いを結び、次世代へ命をつなげる移植医療を、多くの人々に理解し考えていただけるような社会にすべく、移植医療の普及推進活動を進めていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

ありがとう 大切にします

(角膜移植者のお手紙)

今回 角膜を提供していただいて
本当にありがとうございました

心より感謝しております

眼は白内障・緑内障を何度も手術し
これ以上悪くならないようにと
毎月定期検診には欠かさずに通院しておりました

提供していただいた角膜には
あたたかい気持ちで
「ありがとう 大切にします」と
話しかけております

昨年あたりから急に悪くなり
しばらく様子を見守る状態だったのですが
悪くなる一方で
ドクターより移植のお話をいただいて
家族一同ありがたく思いました

感謝の気持ちでいっぱいでございます

(家族が代筆)



幸せを毎日、噛みしめています。

(腎臓移植者のお手紙)

ご無沙汰しています。
私も御陰様で腎臓を頂いて、早や2年2ヶ月に入
りました。
私の体の中で、元気で順調に働いてくれています。
週3回の透析もなく、2年と1ヶ月で約300日
という自由を頂き、食べる物にも以前と違い、何
でも食べ、水分も十分に飲め、食べる物にも気をつ
かう事なく、美味しく食べられる事が一番の今
の幸せです。
この幸せを一日でも長く続くように、朝、手を合
わせて感謝し、また、風呂に入ったら移植の場所
を撫でて、私も体に気を付けて、幸せを毎日、噛
みしめています。

御家族様の方々に 何か御礼の言葉を言いたく
ペンを取りましたが、いざペンを持ってみたら、

中々、心の中の感謝を表す書き方が拙ない事がわ
かりました。

拙ない感謝の言葉ですが、この気持ちだけでも受
け取って頂ければと書きました。一日でも長く感
謝できる事を願って頑張ります。

今は、2ヶ月に1回、先生に診て頂き、とても順
調との事と言ってくれているので安心していま
す。

若い方の腎臓、また、良き移植の先生に恵まれ、
何んて幸せな私だろうと思っています。

最後に御家族の皆様の方々の末長い健康を、心より主人
と共に祈っています。

(移植コーディネーターの方の計らいで感謝の気持ちを
伝えられますことを嬉しく思っています。)

意志、そして遺志

石山 正子

「私は尊厳死を希望し、脳死の判定に従い、脳死後と心停止後、移植のために臓器を提供します。私は両親の遺志を尊重し、右に同意します。」

何がきっかけだったかはもう覚えていませんが、15年前に署名押印した私達夫婦と子供達との約束でした。

平成26年〇月〇日、安岡の済生会下関総合病院で家族が見守る中、主人は帰らぬ人となりました。「もう吐き気と痛みで辛い思いをしなくて済むね。」と語りかけ、呆然としている私に、主治医の先生の「清拭をしますが、ご家族も一緒にされますか。」の声かけに、ふと我に返り、「実は、主人はアイバンクに登録しています。角膜を提供したいのですが・・・」との私の申し出に驚かれ、「連絡は取れますか?」「はい、携帯に電話番号を登録しています。」それからアイバンクコーディネーターの小野村さんと先生方にお任せし、主人との約束を守ることができました。

摘出手術後、主人の清拭と死化粧をしてくださった看護師さんから、済生会病院でも献眼は数例と少なく、医療に携わる一人として感謝の気持ちで

いっぱいです。そんな優しいご主人の旅立ちに役立てて嬉しいとも話されました。アイバンクコーディネーターの小野村さんからも、ちっちゃい可愛い眼でしたよ。二人の方に光が届きますと、何度も感謝の言葉をいただきました。



主人も私もただ、死んだ後でも何かの役に立つことがあればと話し合い、アイバンクに登録し、提供を申し出たしでただけです。後日、2人の方に無事移植ができたとの連絡をいただいて、改めて移植の重要性と提供意思の普及の必要を感じました。

現在、私は、仕事の傍ら、主人の遺志を継いで自治会長と地域振興委員を皆様に協力いただきながら務めています。そのことが何よりの主人への供養と信じて頑張っています。さらに、私にもしものことがあった時には、子供達が私の意志を必ず次の方につないでくれると信じています。

母の思いを実現できた喜び

伊藤 照美

いきなりの母の急逝に今もまだ、離れて暮らしている間隔が消えません。

この度の献眼に際し、亡くなる直前に母からアイバンクに登録したことを話してくれた遠い昔のことを思い出し、病院で献眼を希望しカードも持ち歩いているはずだと伝え、その病院では初めてのことだったらしく、皆さん大慌てであれこれ動いてくださいました。

献眼登録も現在のように免許証や健康保険証の裏に書いただけとかの時代ではなく、インターネットもない頃、母は自分であれこれ調べ市役所でも相手にされず、それでも強い意志で、ドナーカードの取得までしていたことが思い出されます。

結果、母の角膜は2人の方に提供でき、2人の方が光を見ることができるようになったと聞き、母の目は生きていると、母の意志を無駄にせずに済んだと、きっと天国で満足してくれていると信じています。

その影響か、私も全ての臓器提供のドナー登録をしていましたが、8年前癌に罹患し、角膜のみしか提供できないことがわかりました。それでも2人の

方の力になれるのならと、娘にサインを求めましたが絶対いやだと拒否され、息子にサインをしてもらいました。

今もガン治療を続けていますが、何時、どうなるか、分からない身。

母さんにもしものことがあったら、母さんの目がもしかしたら2人の人の眼として生きていけるのだと子供たちに説明して聞かせました。その時には特に納得もしていないようでしたがこの度の母の献眼に立ち会い、私の気持ちが少しは分かったと言ってられるようになり、何時の日かその時、必ず「母はアイバンクに登録しています。」と言ってくれると思っています。本当ならこれからの医学のため、献体も考えましたが、それだけは拒否されました。私も、もし、子供たちに何かあった時はおそらく悩むこともなく拒否する気持ちがします。

人間は年の順に亡くなっていくのだから順番どおりなら迷うこともないでしょう。

同じ亡くなるのなら誰かの役に立てばこれほど嬉しいことはないと思っています。



「献眼しますマーク」・ 「献腎しますマーク」の実現に向けて



藤井 律子 (徳山中央ライオンズクラブ会員・山口県議会議員)

皆様こんにちは。ただ今ご紹介をいただきました山口県議会議員の藤井律子でございます。

本日は「第24回アイバンク & 盲導犬育成基金チャリティショー」の御盛会、誠にありがとうございます。

私は徳山中央ライオンズクラブのメンバーであり、また、若い頃に看護師として働いた経験があります。そのような関係から、本日、新南陽若山ライオンズクラブの山本さんより、この会でお話をして欲しいというご依頼を受けました。素晴らしい機会をいただき誠にありがとうございます。

まず、新南陽若山ライオンズクラブさんには、いつも献眼運動に対し、熱心なお取り組みをしていただいておりますことを心より敬意と謝意を表します。

さらに、これまでのチャリティショーで山口県アイバンクや盲導犬協会にご寄付いただいた総額が1000万円にもなったと伺いました。毎年、会場の皆様からも多額のご寄付をいただいておりますが、この貴重な浄財は、アイバンクの運営や盲導犬育成事業に大切に使われています。本当にありがとうございます。

さて、私は数年前、知人の葬儀に参列した際、故人の献眼に対しての感謝状が読み上げられるのを聞きながら、ふと私の亡き夫が若い頃「僕の角

膜が使えるのなら、使って欲しいな」と言っていたことを思い出しました。既に夫が亡くなって3-4年経っていたと思います。

考えてみれば、夫の命が切れた時、私はショックと動揺の中で、元気な頃に口にしていた言葉など思い出す余裕は全くありませんでした。現在、その後悔を基に、特別な想いで献眼運動に取り組んでいるところです。

一方、新南陽若山ライオンズクラブの山本さんから、いつも出会う度に何時も「アイバンク事業を県でももっと本気で取り組んでいただけないか」と頼まれていたので、一昨年、県議会の一般質問で

「今後、県として、角膜や腎臓の移植医療の普及・推進に対しどのように取り組んでいくのか」と尋ねました。

そして、私の提案として、患者のカルテの表紙に、「献眼します」「腎臓を差し上げます」という特定のマークをつけたらいかかと申し上げました。

現在、本人の意思を明確に表示するものとしては「臓器提供意思表示カード」がありますし、運転免許証や健康保険証の裏面にも記載欄がありますが、これだけあれば、特に問題はないように見えますが、実際の臨終の場ではなかなかうまく機能しません。と言いますのも、次の3つの立場それ

ぞれで、大きな理由があるからです。

まず、本人が献眼したいとの強い思いを持っていても亡くなった後では、意思表示ができません。また、家族は、本人が提供の意思を持っていることをいくら知っていても、いざ大切な人が亡くなった時には混乱していますので提供することなどを思い出す余裕はありません。

さらに、病院は、そもそも病気を治す所なので、患者が死亡した後の話をするには違和感を持つ医療関係者もいます。

しかしながら、もしもカルテの表紙に「献眼しますマーク」「献腎しますマーク」があった場合は、臨終の時に見落とすことなく、医師や看護師さんから家族やコーディネーターへ連絡することができ、本人の意志を尊重することができると思ひ、質問した訳です。

それから2年近く経ち、現在、いくつかの病院で、問診票や入院時の同意書で、患者さんの臓器提供の意思表示の有無を確認し、その情報を病院内で共有できるような取り組みを始められました。

特に、周南市の徳山中央病院におかれては、県のモデルになるほど積極的に取り組んでいただいております。提供の件数も増加しているようで、とても嬉しく思っているところです。

現在、移植医療に関しては、やまぐち移植医療推進財団などにおられる移植コーディネーターや、病院の院内コーディネーターの皆さんが一生懸命活動してくださっています。

また、啓発活動に関しては、30年に渡ってライオンズクラブさんに大変お世話になっておりますし、「やまぐち移植医療推進財団」の設立のきっかけを作られたのも新南陽若山ライオンズクラブさんの非常に大きな働きかけがあったと伺っております。

そのお陰で、山口県において、角膜は364人、腎臓は22人の方が移植手術を受けておられます。しかし、まだまだ多くの方々が移植手術を切望しておられますので、今後はさらに普及活動を推進しなければなりません。

そのために、今、私たちがしなくてはならない事は何でしょう？

まずは、「一人一人が生命はかけがえのないものであること」、また、「その命にも終わりがある

こと」を再認識することが大事です。そうすれば、人生の閉じ方もしっかり考えることになります。次に、移植医療について、正しく知った上で、家族とよく話し合うことが大事だと思います。時々、「身体はどこを取ってもいいけど、目だけはいけんよ。だって、目がなくなったら三途の川が渡れんからね」という方がいらっしゃいます。

アイバンクコーディネーターさんに伺いますと、実際、献眼した場合には、とても精工な手造りの義眼を入れてくださった上で、丁寧に処置をさせていただきますので、表面上は支障ありませんし、黄泉の国から帰ってきた人には、まだ聞いたことがないのでよくわかりませんが、三途の川を渡る時は、義眼であっても何ら問題はないということでした。

なお、それでも不安な人は、片目だけの献眼という手段もあるようです。

この献眼・献腎や臓器移植について、今日は、まず、しっかり考えていただき、さらに、毎年、誕生日などに家族で話し合っただけで欲しいと思います。

誰しも死ぬ時のことを考えたくはありませんが、死は、いつ降り掛かってくるかもわかりません。私も、夫の目を誰かに使っていただくことができたら、夫がその人の身体を借りて、今の世を見ることができていただろうに、と思います。

命がこと切れてからも、次の人生を生きることができる。素晴らしい「命のリレー」です。

また角膜移植は、眼が見えない人に光をプレゼントし、腎移植は、人工透析の生活から解放してあげることができます。共にその人の人生を大きく変えてあげることができる生涯最大の社会奉仕だと思います。

自分が死んでなおかつ、そんな働きができる幸せは他にはないのではないのでしょうか。

ぜひ、今日は、献眼、献腎、移植医療についてご家族でしっかり話し合ってみてください。そして、明るい社会をつくっていくために共に頑張ってまいりましょう。

ご清聴誠にありがとうございました。

(平成26年10月12日(日)新南陽若山ライオンズクラブ主催「第24回アイバンク&盲導犬育成基金チャリティショー」での講演より)

「山口県 移植医療に関するワーキンググループ」活動報告

臓器提供に関する意思をお持ちの方やそのご家族の願いを叶えるために、県内の医療機関の医師・看護師を構成メンバーとする「山口県 移植医療に関するワーキンググループ」では、臓器提供・臓器移植に関する知識の向上をはかり、意見交換を行っています。

平成23年度以降、年2回会議を行っており、平成26年度は8月と1月に会議を行いました。また、それと同日に「山口県院内コーディネーター会議」を開催したので概要をお知らせします。

第7回会議（平成26年8月5日開催）

院内コーディネーターの知識を深めるための講義、及び、臓器提供時の流れや役割を把握することを目的としたシミュレーションを行いました。

各施設において、臓器提供という患者様の意思を尊重する為の体制作りが進められるうえで、今後の課題を明確にして活動の方向性を検討する機会となりました。



第8回会議（平成27年1月13日開催）

平成26年は、1件の心停止後臓器提供と、山口県で初となる脳死下臓器提供が行われました。臓器提供症例の報告を受け、反省点や学びを共有することも当会議の大きな目的です。そこで、実際に関わった医師・院内コーディネーターより詳細の報告を受け参加者で学びを共有しました。

また、大切な人との別れを前に、ご家族が臓器提供について考えるきっかけは様々ですが、命を救うという第一の希望を叶えられない時に、次の希望を叶える機会を提供することも医療施設の役割です。次の希望が「臓器提供」だったとしたら、貴重な時間をどのように過ごすかをご家族が考え、その思いを叶えるための臓器提供に関する選択肢提示について、意見を交換し合いました。

出前講座のご案内

「いのちの尊厳」について考えてみませんか。

移植医療をきっかけに「いのちの尊厳」について考える出前講座を行っています。生と死に向き合い、家族や友人と話し合う貴重な時間をもうけてみませんか。職場・地域での会合、学生さんへの講演等どんな機会でも、僅かな時間であっても無償でお引き受けします。ご希望・ご質問等はいつでもご連絡ください。

◆講座後にいただいた感想より◆

- 命の大切さについて改めて考えることができた。
(看護学生・女)
- 一日一日を大切に生きていこうと思った。
(高2・女性)
- これを機に家族ともよく話をしてみても、命の大切さを子どもにも伝えていきたい。
(高校教師)



連絡先：(公財) やまぐち移植医療推進財団 ☎ 083-932-0743
移植コーディネーター 宛て

角膜・臓器移植に関するアンケート調査

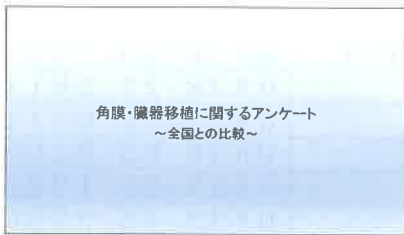
一般の方々へ移植医療に関する知識や理解を深めていただく為、平成26年8月31日に維新百年記念公園陸上競技場で行われたJFL2stステージ第6戦レノファ山口対MIOびわこ滋賀の試合にて、ブースを設置しグッズを配布すると共に、来場者の角膜・臓器移植に関する意識のアンケート調査を行いました。試合前後の限られた時間でしたが、135名の方にご協力いただいた結果を、平成25年に内閣府で行われた世論調査と比較してお知らせします。

山口県民の角膜・臓器移植に関する関心は全国よりも高く、意思の記入も全国よりされていることが分かりました。(資料2, 3参照)

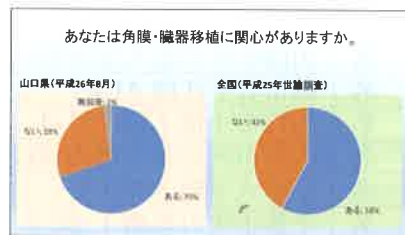
しかし、そのことをご家族と話している割合は全国より低く、意思表示の方法や本人意思が不明でも家族の承諾により角膜・臓器提供が可能であると知らない県民が多いと分かります。(資料4, 5, 6参照)

自身の臓器提供や家族の臓器提供承諾についてわからないと答えた県民が多いことも特徴です。(資料7, 8, 9参照)

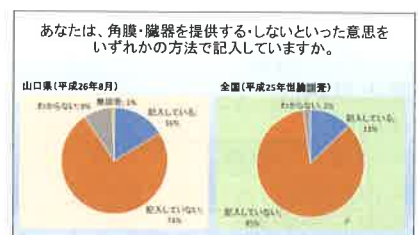
今回のアンケートにより、山口県民は角膜・臓器移植について関心はあるものの、意思を決定するための情報を十分に得ていないと分りました。今後も臓器移植に関する情報を多くの県民に届け、考える機会を与える活動を続けさせていただきます。



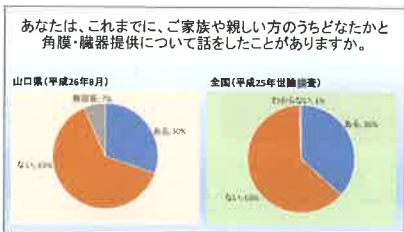
1



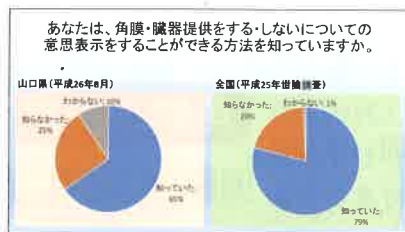
2



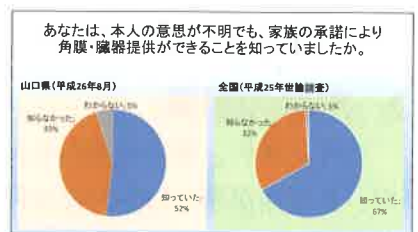
3



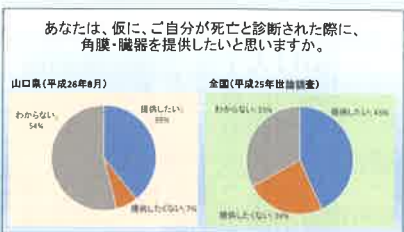
4



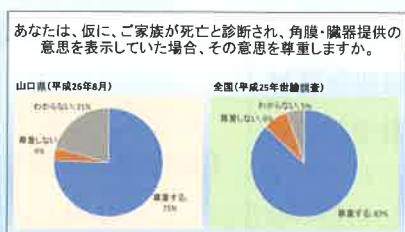
5



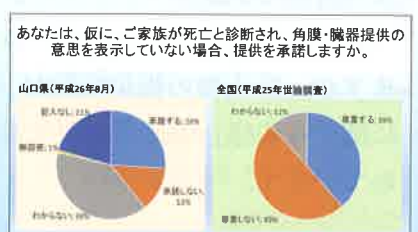
6



7



8



9

「コーディネーター」コーナー

移植医療に関する普及啓発や相談に応じたり、医療施設内の体制整備の支援、実際に臓器や角膜が提供された場合における患者・家族・医療施設間のコーディネーションを行うコーディネーターを設置しています。お気軽にご活用ください。

臓器移植コーディネーター・アイバンクコーディネーター

(公財)やまぐち移植医療推進財団に、臓器移植コーディネーター2名、アイバンクコーディネーター1名を配置しています。提供が発生した場合は、24時間体制で対応しますので遠慮なくご連絡・お問い合わせください。

連絡先 臓器提供の場合 090-8718-2894 090-4893-3573
 角膜提供の場合 0120-12-1110

院内コーディネーター

各々の病院で移植医療に関する啓発を行っています。また、腎臓等の臓器や角膜を提供される可能性のある患者さんの状況把握とそのご家族や院内各部署との調整、患者や家族からの相談に応じています。
 (平成26年10月現在)

山口大学医学部附属病院	8名	宇部市南小串 1-1-1	0836-22-2211
山口県立総合医療センター	2名	防府市大崎 77	0835-22-4411
関門医療センター	2名	下関市長府外浦町 1-1	083-241-1199
岩国医療センター	7名	岩国市愛宕町 1-1-1	0827-34-1000
下関医療センター	2名	下関市上新地町 3-3-8	083-231-5811
宇部興産中央病院	3名	宇部市大字西岐波 750	0836-51-9338
徳山中央病院	7名	周南市孝田町 1-1	0834-28-4411
済生会下関総合病院	11名	下関市安岡町 8-5-1	083-262-2300
下関市立市民病院	4名	下関市向洋町 1-13-1	083-231-4111
山口赤十字病院	2名	山口市八幡馬場 53-1	083-923-0111
周東総合病院	9名	柳井市古開作 1000 番地 1	0820-22-3456
済生会山口総合病院	5名	山口市緑町 2-11	083-901-6111
美祢市立病院	2名	美祢市大嶺町東分 1313-1	0837-52-1700
山口労災病院	5名	山陽小野田市大字小野田 1315-4	0836-83-2881
都志見病院	2名	萩市大字江向 413-1	0838-22-2811
林病院	1名	山口市小郡下郷 751-4	083-972-0411
阿知須共立病院	1名	山口市阿知須寺河内 4171-1	0836-65-2200
萩市民病院	1名	萩市大字椿 3460-3	0838-25-1200
周南記念病院	3名	下松市生野屋南 1-10-1	0833-45-3330

★★★角膜・臓器の提供が行える施設★★★

○ 角膜の提供

心停止後に、摘出の場所は全く問いませんが、ご遺体が平坦に仰向けで仰臥できることが必要です。

角膜が提供できる施設

病院、福祉施設、自宅、葬儀場等

○ 臓器の提供

心停止後の提供は手術室がある病院で行えますが、脳死後の提供病院は、「臓器の移植に関する法律」の運用に関する指針で定められています。

臓器が提供できる施設

心停止後に提供できる施設	脳死後に提供できる施設
手術室がある全ての病院	山口大学医学部附属病院
	関門医療センター
	下関医療センター
	宇部興産中央病院
	山口県立総合医療センター
	徳山中央病院
	岩国医療センター

献 腎 ・ 献 眼

尊いご意思をありがとうございました。平成25年12月から平成26年11月までの間に、献腎・献眼をされた方々です。

心から感謝申し上げますとともに謹んでお悔やみ申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。

ご遺族様に厚生労働大臣、(公財)日本アイバンク協会理事長、(公財)やまぐち移植医療推進財団理事長から感謝状をお届けしました。

後藤 正美様 池田 猛樹様 岩本 将典様 萩野トヨネ様
 竹川 敬子様 田邊 光伸様 松坂 達郎様 澤重千都里様
 田丸 容子様 浦口 幸枝様

他に7名の方を含め、17名の方からご提供をいただきました。

(ご遺族のご了解をいただいた方のみ氏名を掲載しています。)



寄附金(賛助会費を含む)に対する免税措置について

これまで、個人が、公益社団法人・公益財団法人へ寄附金(賛助会費を含む)を支出した場合、所得控除制度が適用されていましたが、昨年の税制改正で「所得税法の一部を改正する法律」の施行により、市税特別措置法(昭和32年法律第26号)が改正され、税額控除制度の適用を受けることが出来るようになりました。

なお、下記の税額控除制度(A)を適用するか所得控除制度(B)を適用するかは、確定申告時にどちらか有利な方を選択して申告することになります。

〔新しく導入された控除方式〕

A〔寄附金控除(税額控除)額の計算〕

次の算式により算出された額が「寄附金額」として所得税から控除されます。

(寄附金合計額(※1) - 2,000円) × 40% = 控除額(※2)

※1 寄附金額が総所得金額の40%を超える場合は、40%に相当する額が「寄附金控除額」となります。

※2 控除額は100円未満の端数は切り捨てとなり、また、所得税の25%が限度となります。

B〔寄附金控除(所得控除)額の計算〕

次の数式により算出された額が「寄附金額」として所得税から控除されます。

寄附金合計額 - 2,000円 ただし、年間所得の40%に相当する額が限度となります。

● 賛助会員ご加入、寄附のお願い ●

当財団は、病気で苦しんでおられる患者さんと角膜や腎臓などを提供して下さる方々を結び架け橋となるため、移植等に関する知識の普及と臓器提供者の確保に努めるため活動しております。

この活動を充実させるための費用は、皆様から寄せられたご厚志により支えられております。

本事業に積極的にご理解とご賛同をいただき、皆様の暖かいご支援をお待ちしております。

「香典のお返し」もいただいております。お礼状のハガキなどもご用意できますので、お気軽にご相談ください。

賛助会費 団体・法人会員 年会費 10 10,000円
 個人会費 年会費 10 2,000円

寄附金 金額は問いません

賛助会費・寄附金の振り込みは

□ 座名：(公財)やまぐち移植医療推進財団

山口銀行：県庁内支店 普通 6033617

郵便局：01300-2-78463

お問い合わせ

(公財)やまぐち移植医療推進財団

電話：083-932-0743

FAX：083-933-2939

メール：bank2@crocus.ocn.ne.jp

～こころ温まるご支援ありがとうございました～

平成25年12月から平成26年11月末までの間、大勢の皆様から4,626,834円のご支援をいただきました。ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

氏名	金額	氏名	金額	氏名	金額
メスキュード医療安全基金	1,000,000	上野 浄	10,000	濱崎 正俊・和子	5,000
社会福祉法人むべの里(自動販売機)	285,602	内海 典子	10,000	判野 昌恒	5,000
新南陽若山ライオンズクラブ	281,266	梅原耳鼻咽喉科	10,000	福田 千代美	5,000
(株)ホスピタルサービス(自動販売機)	280,758	浦山 均	10,000	藤永 公然	5,000
美祿ライオンズクラブ	110,000	金子 正男	10,000	古川 菊枝	5,000
(株)ミドリ 代表取締役 碧村治憲	100,000	株式会社 タケシタ	10,000	古沢 美佐子	5,000
下関ライオンズクラブ	100,000	北村 正次	10,000	道中 和彦	5,000
総合病院 社会保険徳山中央病院	100,000	草原 シズカ	10,000	宮川 健	5,000
長田 正夫	100,000	後藤外科胃腸科肛門科医院	10,000	山崎 敏男	5,000
(医)田中としろう眼科 理事長 田中俊朗	80,000	佐藤 和子	10,000	山根 進	5,000
石山 正子	60,000	澤重 正輝	10,000	山本 裕	5,000
協和建設工業株式会社(自動販売機)	50,666	下関市立済生会豊浦病院 院長 上領頼啓	10,000	よなみや薬局 薬剤師 岩立泰昌	5,000
宇部ハーモニーライオンズクラブ会長 崎西秀子	50,000	大栄建設株式会社	10,000	渡辺 春枝	5,000
酒田 三男	50,000	高野 親	10,000	大栄建設株式会社(自動販売機)	4,040
山陽ライオンズクラブ	50,000	田中 久男	10,000	石井 真由美	4,000
戸倉 淳	50,000	ときわクリニック 若松隆史	10,000	匿名	4,000
(株)金子塗装店(自動販売機)	46,172	匿名	10,000	松金 晃生	4,000
(有)西岡設備(自動販売機)	40,957	トモヤオート(株) 代表取締役 山本 司	10,000	溝部 静政・孝子	4,000
不二輸送機工業株式会社(自動販売機)	36,212	中野 公史	10,000	山本 茂子	4,000
近藤眼科	35,000	中野 博之	10,000	社会福祉法人光栄会(自動販売機)	3,804
彦島眼科	30,366	なかの眼科クリニック 中野朋子	10,000	国沢 康乃	3,500
湧田 真紀子	30,000	村上 康子	10,000	宇部工業株式会社(自動販売機)	3,311
全国健康保険協会山口支部(自動販売機)	27,876	山口印刷工業株式会社	10,000	(医)じょうのクリニック 城野憲史	3,000
(医)浅山眼科 理事長 浅山琢也	23,000	山口県央ロータリークラブ	10,000	芥川 恵美子	3,000
齊藤外科眼科	22,178	山口県歯科医師会	10,000	石原 博司	3,000
(医)仁保病院(自動販売機)	22,125	山根 勇	10,000	井上 正義	3,000
生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会	21,854	野村眼科	9,468	大曲 恵美子	3,000
服部産業株式会社(自動販売機)	21,158	玉木病院(自動販売機)	8,887	岡村 晃治	3,000
小幡眼科医院 理事長 守田明子	20,800	守田歯科	8,111	金子 和代	3,000
(医)周南眼科 理事長 梶原 良	20,000	大崎 佐代子	8,000	河野 祐子	3,000
下松中央ライオンズクラブ	20,000	吉村 信一	8,000	川原 いづみ	3,000
古谷 久美子	20,000	匿名	7,220	河村 三重子	3,000
有限会社 大正白蟻工務店	20,000	吉南病院	6,305	坂本 久美子	3,000
ライオンズクラブ国際協会336-D地区委員長 前村きみこ	20,000	藤川 真	5,972	坂本 保子	3,000
和田 嘉行	20,000	(有)市民サービスセンター(自動販売機)	5,637	椿 包光	3,000
(医)昌成会 國司眼科医院 理事長 國司幸生	19,066	(株)いちやなぎ	5,000	匿名	3,000
松本眼科	18,320	出雲 陽子	5,000	長岡 麻里子	3,000
トモヤオート株式会社(自動販売機)	18,036	入交 知則	5,000	中山 浩二	3,000
山口県立総合医療センター共済会	16,563	植中 信江	5,000	名和田 敏子	3,000
(医)光成会 梶原眼科医院 梶原功一	15,258	江本 正	5,000	西田 愛子	3,000
寿司やす(自動販売機)	14,461	岡本 幸江	5,000	西村 良恵	3,000
山口県済生会下関総合病院	13,450	笠本 亜紀	5,000	服部 久成	3,000
一般財団法人 朋和会	12,820	梶井内科医院 梶井信洋	5,000	林 良子	3,000
株式会社 玉野石油店(自動販売機)	12,786	河内 達雄	5,000	原 祐二	3,000
総合電機有限会社(自動販売機)	12,215	木下 尚志	5,000	福永 千代子	3,000
(医)寺西眼科 理事長 寺西秀人	11,000	國吉 由紀子	5,000	福屋 好子	3,000
金子 成志	11,000	倉谷 知登司	5,000	松坂 道雄	3,000
宇部記念病院	10,440	坂本 渉	5,000	松本 那子	3,000
(医)イオキ会 徳山クリニック 理事長 石川佳世子	10,000	佐藤 光江	5,000	村上 貴美代	3,000
(医)かねはら小児科 理事長 金原洋治	10,000	重本 秀明	5,000	横路 富枝	3,000
(医)玖珂中央病院 理事長 吉岡春紀	10,000	清水 知代	5,000	横山 一己	3,000
(医)小林耳鼻咽喉科医院 理事長 小林優子	10,000	下関中央ライオンズクラブ	5,000	吉村 澄子	3,000
(医)鈴木眼科医院 鈴木紘子	10,000	庄司 幸恵	5,000	小野 晃	2,600
(医)永谷眼科	10,000	新苗 真砂子	5,000	池田 龍次	2,500
(医)仁保病院	10,000	水津皮膚科	5,000	相本 和子	2,400
(医)やまさきファミリークリニック	10,000	杉山 光政	5,000	石合 綾子	2,400
(株)タイハイ	10,000	角 通夫・喜代子	5,000	山本 奈緒美	2,400
(有)遠藤中央薬局	10,000	瀬尾 ヒサ子	5,000	中村 栄	2,123
(有)明星	10,000	田口 和江	5,000	相部ひで子	2,000
石野 清	10,000	中西 多美子	5,000	青木 省三	2,000
磯辺 美代子	10,000	中村 直美	5,000	上利 芳枝	2,000
伊藤 文子	10,000	野村 恒民	5,000	吾郷 郁夫	2,000

氏名	金額	氏名	金額	氏名	金額
麻野 他郎	2,000	末永 典博	2,000	正木 房江	2,000
浅野 信利	2,000	隅谷 美佐子	2,000	増村 多美子	2,000
浅原 茂	2,000	高崚 達生	2,000	松浦 節子	2,000
新井 勝実	2,000	高橋 郁男	2,000	松重 泰夫	2,000
アンノ ノブユキ	2,000	高橋 作之助	2,000	松田 誠子	2,000
池田 芳江	2,000	高橋 治美	2,000	松原 守	2,000
石田 昭二	2,000	高山 岳秀	2,000	松本 正幸	2,000
泉 幸子	2,000	滝 良子	2,000	松本 元枝	2,000
板村 美智子	2,000	田島 勝・理恵子	2,000	三浦 清隆	2,000
市川 江美子	2,000	立田 洋子	2,000	溝上 好登	2,000
伊藤 英二	2,000	田中 悦子	2,000	溝口 功	2,000
伊藤 哲也	2,000	田中 聖児	2,000	三吉 矩子	2,000
井藤 洋子	2,000	田中 信行	2,000	棟近 啓治	2,000
井町 實	2,000	田中 博子	2,000	村上 タケシ	2,000
岩崎 琢磨	2,000	田辺 寛	2,000	村上 英槌	2,000
岩中 喜美子	2,000	タナベ ヨシユキ	2,000	村田 眞澄	2,000
植田 やよい	2,000	谷口 一馬	2,000	村田 三枝子	2,000
上鶴 弘子	2,000	田村 弓子	2,000	本山 美江	2,000
上野 和雄	2,000	俵 文子	2,000	安尾 泰子	2,000
上野 智子	2,000	津村 はる美	2,000	柳上 京子	2,000
上野 美智子	2,000	東篠 葉子	2,000	柳本 滋	2,000
内山 民子	2,000	徳原 万希子	2,000	山岡 雛子	2,000
浴本 武士	2,000	匿名	2,000	山崎 絹江	2,000
浴本 恒子	2,000	匿名	2,000	山下 智江	2,000
大田 美紀子	2,000	匿名	2,000	山田 七生	2,000
大塚 健二	2,000	匿名	2,000	山田 ヨシ子	2,000
大野 喜美枝	2,000	富田 恒彦	2,000	山近 妙子	2,000
岡田 事	2,000	中島 良博	2,000	山村 和人	2,000
岡村 晴夫	2,000	中田 恵美子	2,000	山本 健次郎	2,000
荻原 柳子	2,000	長嶺 義昌	2,000	山本 隆	2,000
笠原 高六郎	2,000	中村 宮子	2,000	山本 東正	2,000
柏村 宣男	2,000	中村 宮治	2,000	山本 美津子	2,000
柏村 康恵	2,000	西岡 キミ子	2,000	山本 洋二	2,000
片井 実	2,000	西岡 武美	2,000	吉川 正範	2,000
片岡 利伸	2,000	西本 陽子	2,000	吉田 一枝	2,000
神崎 洋美	2,000	新田 恵子	2,000	吉田 功	2,000
亀石 三千代	2,000	新田 昌史	2,000	吉田 潤子	2,000
亀谷 由香	2,000	野村 和子	2,000	吉田 幸子	2,000
河岡 淑江	2,000	野村 俊子	2,000	吉光 一枝	2,000
川口 博子	2,000	橋崎 佳奈江	2,000	米藤 一志	2,000
河嶋 博樹	2,000	橋平 尚理	2,000	和田 聡	2,000
河野 益幸	2,000	秦 昭治	2,000	渡辺 一英	2,000
河村 孝則	2,000	馬場 恭子	2,000	渡辺 澄男	2,000
河村 昌枝	2,000	濱田 直樹	2,000	渡辺 裕紀	2,000
河本 貞代	2,000	林 佳子	2,000	重富 美喜江	1,580
木下 敬太郎	2,000	原 和枝	2,000	たはらクリニック	1,141
木下 艶子	2,000	原木 太一	2,000	内山 朝子	1,000
日下 貴志	2,000	原田 知枝	2,000	内山 毅	1,000
國本 律子	2,000	原田 文夫	2,000	木原 順子	1,000
熊野 茂公	2,000	原田 裕子	2,000	時藤 博子	1,000
倉本 勝民	2,000	伴 節子	2,000	永岡 好野	1,000
甲藤 祐子	2,000	半田内科クリニック 半田哲朗	2,000	長松 稔	1,000
小林 高年	2,000	平本 光雄	2,000	林 美智子	1,000
坂井 恵衣子	2,000	廣海 勝	2,000	林田 ツル江	1,000
坂井 ミサエ	2,000	廣瀬 和男	2,000	広川 精二	1,000
坂本 恵次	2,000	弘田 頼子	2,000	藤井 義信	1,000
佐古田 毅	2,000	深野 美恵子	2,000	藤田 正亮	1,000
貞久 徳夫	2,000	深町 尚美	2,000	藤永 登志子	1,000
繁山 亨	2,000	福井 依子	2,000	藤村 善枝	1,000
柴田 幸子	2,000	福田 光宏	2,000	松浦 孝二	1,000
清水 等	2,000	福田 康英	2,000	安田 康子	1,000
清水 まり子	2,000	福田 好孝	2,000	匿名	810
城 知保子	2,000	福岡 豊	2,000	浅野 典子	800
城戸 雪美	2,000	藤井 一枝	2,000	匿名	500
白木 勲	2,000	藤井 充代	2,000	林 尚枝	500
新家 善和	2,000	藤川 実	2,000	藤井 三枝子	420
新宅 節	2,000	藤村 雅子	2,000		
末永 秀次	2,000	藤本 米子	2,000	合計	4,626,834

事業運営支援のための自動販売機設置事業所の紹介

移植医療の事業運営支援のために自動販売機の売上金の一部のご寄附やパンフレット類の設置等、現在までに次の事業所にご協力をいただいています。

	事業者	設置場所	台数	
山口市	仁保病院	病院内	2	
	コカ・コーラウエスト(株)	全健保山口県支部施設内	1	
宇部市	むべの里	むべの里施設内	1	
		住吉施設内	1	
		東本町施設内	1	
		東芝中施設内	1	
		ケアハウスひらき施設内	1	
		博愛園	1	
		光栄会	総合支援センター	1
		放課後等デイサービスセンターすばーくる光栄	1	
		大栄建設(株)	光栄会新築工事事務所	1
		宇部工業(株)	むべの里	1
周南市	トモヤオート(株)	本社敷地内	1	
	(株)玉野石油店	E.N.E.O.S富田東給油所	1	
	総合電機(有)	店頭	1	
	寿司やす	店頭	1	
	(株)ホスピタルサービス	徳山中央病院内	1	
萩市	(有)市民センター	萩センタービル駐車場	1	
	(株)協和建設工業	会社敷地内	1	
	(株)金子塗装店	社員寮	1	
	服部産業(株)	本社敷地内	1	
	(有)西岡設備	事務所前	1	
	玉木病院	病院施設内	1	
山陽小野田市	コカ・コーラウエスト(株)	富士輸送機工業(株)敷地内	1	
合計	18		25	

障害児の放課後デイサービスセンターパークル(宇部市社会福祉法人光栄会)に設置しているアイバンク広報用の自動販売機



工事現場(宇部市大栄建設(株))には、自動販売機に趣旨を記載して設置している。



設置に伴う手続きや費用負担をおかけすることは全くございませんので、多くの事業者の皆様のご理解をいただいで設置の増加にご協力をお願いします。

伝・言・板

- ご住所、お名前、物故等の変更がありましたらお知らせください。
- 臓器提供意思表示カードや運転免許証及び健康保険証の裏面に臓器提供の意思表示欄があります。臓器や角膜を「提供する」・「提供しない」ご自身の意思をご記入ください。
- 講師派遣制度
「臓器及び角膜の提供や移植について」など、移植医療の普及啓発や提供が発生した場合を想定した講演会や研修会に講師を派遣します。派遣に伴う費用は不要です。ご活用下さい。
- 学習用や普及啓発用のパンフレットやグッズを用意しています。必要な方はご連絡下さい。送料は当方で負担します。
- イベント・移植に関する情報はホームページに掲載しています。
ホームページアドレスは次のとおりです。<http://www.y-ishoku.org>

献眼の連絡

お亡くなりになられた時、ご相談、事前連絡など

0120-12-1110 (平日8:30~17:15)
0120-12-1116 (平日夜間・土・日・祝日・休日)

臓器提供の連絡

ご相談、事前連絡など

0120-12-1110 (平日8:30~17:15)
090-8718-2894 (終日)
0120-78-1069 (終日)

(公財) やまぐち移植医療推進財団の連絡先

〒753-8790 山口市滝町1-1 県庁6階 地域医療推進室内
電話 **083-932-0743** FAX **083-933-2939**
e-mail bank2@crocus.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.y-ishoku.org/>